



浜松ハーモニーロータリークラブ週報

No.916 2018.06.13 (水)

2017~18年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー
RI2620 地区 ガバナー 松村 友吉 (焼津RC)

Hamamatsu
Harmony RC
Weekly
Bulletin

会長挨拶

古川雅康

皆様、こんばんは。今月6月は「ロータリー親睦活動月間」ですので、親睦にちなんだお話を致します。ポール・ハリスが初めて日本を訪問した時、日本のロータリアンが、ロータリークラブ設立の動機を尋ねました。ポール・ハリスは「ただ寂しかったから」と答えたと言われております。つまりロータリー創設の原点は本当に心から何でも話し合える友人を作ることであったというのです。



また、ポール・ハリスは、「ロータリーの基盤は親睦(Fellowship)と奉仕(Service)にあつて、両者を結びつけるのが寛容(Tolerance)である」とも語っています。ロータリーでは英語のフェローシップを親睦と訳していますが、日本人がイメージするものとは少し異なるようです。辞書によればフェローシップとは「何かを一緒に行う、または利害を分け合う人々の行いで生まれる友情の感情、仲間意識、連帯感」という意味になります。つまり、ロータリー活動を志す仲間同士の友情と連帯としてのフェローシップが根底にあり、そのフェローシップを深めるため手段として親睦活動があるのではないのでしょうか。

国際ロータリーには世界的な同好会活動のような「ロータリー親睦活動グループ」があります。日本のロータリーの参加としてはロータリーの友に載っているように現在は囲碁などいくつかに限られているようですが、親睦が意義あるロータリー活動の原動力であることを認識し、単にクラブに関してのみ限定されるものではなく、スポーツや音楽、学術、趣味など、同じ興味や情熱を持つ世界中の仲間と親交の輪を広げるチャンスとして利用してみるのも楽しいかもしれません。

さて、本日の例会は中島会員から糖尿病についての卓話です。また、今夜は今年度最後の青パトです。最後まで事故のないよう安全にパトロールをお願い致します。

ビジター

菅沼仁司様 (浜名湖ロータリークラブ)

幹事報告

配布物：ガバナー月信6月号

例会後青色回転灯パトロール、次週例会および現次年度理事会開催のご案内

プログラム 「合併症が怖い糖尿病について」

中島千春会員

糖尿病では、健康寿命が15年短く心筋梗塞による死亡リスクが2.3倍、がんによる死亡リスクが1.2倍、骨粗鬆症、アルツハイマー病のリスクが3倍にもなります。

糖尿病と判断されたら、毎月の採血で、HbA1c、血糖、腎機能、尿蛋白網膜症、心臓、神経障害の検査をお願いします。

食事療法のポイントとしては、

1. 適切なカロリー摂取から腹八分
2. 清涼飲料水の糖質に注意、のどが乾いたら水かお茶
3. 野菜はたっぷり (イモ類とかぼちゃは糖質が多いので注意)
4. 主食は多すぎず、少なすぎず、食べる順番にも注意



スマイル

竹内宏幸 (少し休みが続きましたので、スマイルします) 竹内恵子 (菅沼様、ようこそ！中島先生、お話しを楽しみにしています)

今年度最後の
青色回転灯
パトロール
に出発！ →



6月14日(木)
静岡第5グループ
会長幹事
引き継ぎ会→
(聴涛館にて)



出席報告

出席率 38名中26名 (68.42%)
修正出席率 82.05%



浜松ハーモニーロータリークラブ

〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1 グランドホテル浜松内

Tel: 053-413-1782 Fax: 053-413-1781 e-mail: hhrc@plum.ocn.ne.jp